KDDI Smart Mobile Safety Manager
4G LTE ケータイ エージェント　ユーザーマニュアル

最終更新日　2025 年 4 月 17 日
Document ver.1.19
（Web ｻｲﾄ ver9.21.2）

変更履歴

日付	Document ver.	変更箇所	変更内容
2016/2/15	1.00	-	新規作成
		特徴 使用可能な機能について エージェントが行うこと メニュー画面の見かた バックアップ・復元機能を利用する	バックアップ、復元機能について、端末の連絡帳のバックアップであることを明記
		管理サイトに保存した端末の端末側で作成した連絡帳を復元する	バックアップの説明を追加
		エージェントをインストールする	ソフトウェアのバージョンの確認に関する注意文を追加
2016/8/29	1.01	-	フォーマット変更
		禁止されているアプリケーションを起動した場合	禁止アプリケーションの起動について説明を追加
		禁止されている URL にアクセスした場合	禁止 URL アクセスについて説明を追加
2016/11/29	1.02	禁止されている URL にアクセスした場合	カテゴリフィルタ設定について説明を追加 最新画像に差し替え
		Web フィルタリング機能が有効の場合	Web フィルタリング機能が有効について説明を追加
		よくある質問と回答	FAQ マニュアルに転記した為、削除
2017/1/26	1.03	全体	「参照」、「以下」等に係る記載揺れの統一
		全体	連絡帳を共有アドレス帳または端末側で作成した連絡帳に変更
		発信先が制限されている場合	発信先制限についての説明を追加
		禁止されている URL またはカテゴリに含まれる Web ページへのアクセスをした場合	タイトル変更
			カテゴリに含まれる Web ページについての説明を追加
			オプションマークを追加
			≪禁止対象 URL の場合≫の画面表示についての記載を更新
		Web フィルタリング機能が有効の場合	Web フィルタリング機能が有効についての説明を更新
			オプションマークを追加
		用語集	共有アドレス帳の説明を追加
		本マニュアルの見かた	オプションマークについての説明を追加
2017/5/23	1.04	用語集	巻末から「はじめに」に移動
2017/10/12	1.05	メッセージ通知確認	メッセージ通知確認の説明を追加
		ステータス管理送信	ステータス管理送信の説明を追加
		エージェント動作環境	端末の種類を追加

日付	Document ver.	変更箇所	変更内容
2017/12/5	1.06	ステータスでユーザー検索する	ステータスでユーザー検索するの説明を追加
2017/12/8	1.07	ステータスでユーザー検索する	注釈を追加
201712/28	1.08	ウイルス対策機能を使用する	ウイルス対策機能の説明を追加
		エージェント動作環境	KYF37 追加
2018/6/28	1.09	禁止されている URL またはカテゴリに含まれる Web ページへのアクセスをした 場合	≪禁止対象 URL の判定がエラーになった場合≫の説明を修正
2018/12/13	1.10	エージェントをインストールする	インストール中画面にバックグラウンドでもインストールが完了している旨の注釈追加
2019/12/5	1.11	全体	参照先マニュアルおよびページの見直し、表記の統一
			カッコ類を全角に統一
		エージェント動作環境	対応端末に KYF39 追加 対応言語修正
2021/2/21	1.12	KYF37、KYF39 の場合	セクション追加
2021/11/28	1.13	全体	KYF42 の説明を追加
		+browser Safety Manager を使用する	セクション追加
		第 4 章 ウイルス対策機能を使用する	メニューボタンのある画像に差し替え KYF42 の注記を追加
2022/2/20	1.14	エージェントが収集する情報	Mac アドレスに備考を追加
2022/7/24	1.15	メニュー画面の見かた	通信方式について説明を追加
2022/11/20	1.16	2.1.3 KYF42 の場合	手順追加
		2.2.2 KYF42 の場合	手順削除
2024/7/21	1.17	全体	誤字脱字修正
2024/10/28	1.18	全体	KYF44 の説明を追加
2025/3/24	1.19	2.1.3 KYF42 の場合	手順 15 に注記追加

第 1 章　はじめに 6

1.1　概要 7
1.2　特徴 7
1.3　エージェント動作環境 7
1.4　本マニュアルの見かた 8
1.5　用語集 8
1.6　使用可能な機能について 9
1.7　エージェントが行うこと 9
1.8　エージェントが収集する情報 10

第 2 章　エージェントの基本操作 11

2.1　エージェントをインストールする 12
2.1.1　KYF31、KYF33、KYF34 の場合 12
2.1.2　KYF37、KYF39 の場合 13
2.1.3　KYF42 の場合 14
2.1.4　KYF44 の場合 19
2.2　メニュー画面を表示する 25
2.2.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 25
2.2.2　KYF42、KYF44 の場合 26
2.3　メニュー画面の見かた 27
2.4　ライセンス認証を行う 28
2.4.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 28
2.4.2　KYF42、KYF44 の場合 30
2.5　端末に最新の設定を反映させる 32
2.6　スクリーンロックのパスワード設定を行う 33
2.6.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 33
2.6.2　KYF42、KYF44 の場合 34
2.7　スクリーンロックパスワードが変更された場合 36
2.8　禁止されているアプリケーションを起動した場合 37
2.9　禁止されている URL またはカテゴリに含まれる Web ページへのアクセスをした場合 38
2.10　Web フィルタリング機能が有効の場合 39
2.11　発信先が制限されている場合 40

第 3 章　端末側で作成した連絡帳のバックアップ・復元機能を利用する 41

3.1　端末側で作成した連絡帳を管理サイトにバックアップする 42
3.2　管理サイトに保存した端末の端末側で作成した連絡帳を復元する 43

第 4 章　ウイルス対策機能を使用する 44

4.1　メイン画面を表示する 45
4.2　設定の確認を行う 46
4.3　手動で検索を行う 48
4.4　手動でパターンファイルのアップデートを行う 50
4.5　ログの収集と送付 51
4.6　履歴を確認する 53

第 5 章　+browser Safety Manager を使用する 55

5.1　メイン画面を表示する 56
5.2　メイン画面の見かた 58
5.3　メニュー画面の見かた 59
5.4　設定画面の見かた 60
5.5　アンインストールする 61

第 6 章　その他の機能 62

6.1　メッセージを確認する 63
6.1.1　未開封メッセージを確認する 63
6.1.2　受信済みのメッセージを確認する 64
6.2　ステータス管理 65
6.2.1　ステータスを送信する 65
6.2.2　ステータスでユーザー検索する 66
6.3　位置情報取得の設定を行う 68
6.3.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 68
6.3.2　KYF42、KYF44 の場合 69
6.4　ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する 70
6.5　ロックを解除する 71

第 7 章　エージェントの利用を停止する 73

7.1　一時的にエージェントを停止する 74
7.1.1　一時的にエージェントを停止する 74
7.1.2　再度エージェントを起動する 75
7.2　ライセンス解除を行う 76
7.3　エージェントをアンインストールする 77
7.4　端末を初期化する（KYF42、KYF44） 78

第1章　はじめに

1.1　概要 7
1.2　特徴 7
1.3　エージェント動作環境 7
1.4　本マニュアルの見かた 8
1.5　用語集 8
1.6　使用可能な機能について 9
1.7　エージェントが行うこと 9
1.8　エージェントが収集する情報 10

1.1 概要

KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）とは、専門の知識を必要とせずに、4G LTE ケータイ機器の管理･運用を行うサポートサービスです。KDDI Smart Mobile Safety Manager 4G LTE ケータイ向け管理サイト（以下、管理サイトと呼ぶ）では、4G LTE ケータイの管理・運用を行います。管理サイトより、機器の状態や位置情報を確認したり、リモートロックやリモートワイプ（初期化）を行うことができます。

よくあるご質問と回答に関しましては、以下を参照してください。

http://bizcs.kddi.com/app/answers/list/c/801/p/

1.2 特徴

◆リモートロック

紛失してしまい 4G LTE ケータイ端末が手元にない場合も、管理サイトからロックをすることができます。

ロックされた 4G LTE ケータイ端末はパスワードの入力か、管理サイトの設定を変更することでロックを解除することができます。

◆共有アドレス帳設定

連絡先を 4G LTE ケータイ端末で 1 件ずつ登録しなくても、管理サイトから一括で共有アドレス帳を登録することができます。

◆機器管理

管理サイト上で、機器にユーザーやグループを設定することで、4G LTE ケータイ端末の資産管理を容易に行うことができます。

◆4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳のバックアップ、復元

定期的に 4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳の情報をサーバーに保存しておき、問題が発生した時などには保存したその情報を元に以前の状態に戻すことができます。

◆スクリーンロック設定

管理サイト上でスクリーンロック解除時に必ずパスワードを入力するように設定すると、4G LTE ケータイ端末側にパスワード設定画面が自動的に表示され、パスワードの設定を行うことができます。

1.3 エージェント動作環境

端末	KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39、KYF42、KYF44
本体メモリ	10MB 以上の空き容量
SD カード	5MB 以上の空き容量（ダウンロードしたインストーラーを SD カードに保存する場合）
ネットワーク接続	4G または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信（443 番ポート） ができること。
対応言語	日本語／英語 上記以外の言語に切り替えた場合は、英語表記となります。

※端末の言語を切り替えても、すぐに言語が変更されない場合があります。すぐに言語を変更したい場合は、端末を再起動してください。

1.4 本マニュアルの見かた

・ボタン名、リンク名、タブ名などは［ ］で表記します。

・画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。

・画面、操作がマニュアルの記載と異なる場合があります。

・オプションマーク

がついているものはオプション機能です。ご契約されていない場合はご利用いただけません。

1.5 用語集

用語	意味
Wi-Fi	Wi-Fi Alliance によって無線 LAN 機器間の相互接続性を認証されたことを示す名称、ブランド名。
エージェント	4G LTE ケータイ端末を管理・運用するためのソフトウェアです。 利用する 4G LTE ケータイ端末にインストールしてください。
エージェントパスワード	エージェントの終了やアンインストールに必要なパスワードです。 エージェントパスワードは管理者によって設定されています。 詳細は、管理者にお問い合わせください。
管理者	利用企業内で本製品の管理を行うユーザーのことです。 管理サイトを利用し、スマートデバイス（4G LTE ケータイ端末等）の管理・運用を行います。
企業コード	企業ごとに割り振られた企業を表す英数字のコードです。 利用企業を識別するために使用します。
共有アドレス帳	管理サイトで配信する連絡先のことです。
サーバー （管理サイト）	エージェントが通信を行う管理サーバーです。
サービス企業	本製品を提供する企業のことです。 利用企業はサービス企業に対して本製品の利用の申し込みを行います。
認証コード	本製品のライセンス認証に必要な英数字のコードです。 企業コードと合わせて確認することで本製品の使用が可能となります。
ブラウザー	インターネットをみるためのアプリケーションのことです。
ユーザー	本製品で管理を行うスマートデバイス（4G LTE ケータイ端末等）の利用者です。
ライセンス	本製品を利用するための権利のことです。 本製品で管理を行うスマートデバイス（4G LTE ケータイ端末等）の台数と同じ数のライセンスが必要となります。 詳細は、管理者にお問い合わせください。
利用企業	本製品を利用する企業のことです。

1.6 使用可能な機能について

4G LTE ケータイで使用できる機能は以下の通りです。

機能
同期
スクリーンロック
リモートワイプ
連絡帳のバックアップ・復元機能
メッセージ通知確認
ステータス管理送信
位置情報取得
ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する

1.7 エージェントが行うこと

概要	説明
4G LTE ケータイ端末の情報の収集	定期的に 4G LTE ケータイ端末の情報を取得してサーバーに送信する。（送信した情報は管理サイトで機器情報として表示される）
4G LTE ケータイ端末の設定	定期的にサーバーから設定を取得して 4G LTE ケータイ端末に設定する。
4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳のバックアップ	定期的に 4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳の情報をサーバーに保存する。
4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳の復元	以前にサーバーに保存した 4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳の情報をダウンロードし、その情報を元に以前の状態に戻す。

1.8 エージェントが収集する情報

カテゴリー	項目	補足
端末情報	GPS 機能	
	OS バージョン	
	モデル名	
	電話番号	SIM あり端末のみ
	IMEI	
	ファームウェアバージョン	
	ビルド番号	
	シリアル番号	
	Bluetooth 状態	
バッテリー情報	バッテリー残量	
	バッテリー状態	
端末パスワード	パスワードのポリシー	
	パスワードの再利用	
	パスワードの有効期限	
ネットワーク情報	グローバル IP アドレス	
	ネットワークモード	4G/Wi-Fi
	ネットワークオペレーター	SIM あり端末のみ
	MAC アドレス	端末の Wi-Fi 設定が無効の場合は、MAC アドレスを取得できません。
	IP アドレス	
	無線ネットワーク	
	SSID	
KDDI Smart Mobile Safety Manager	エージェントバージョン	
	通信日時	
	認証日時	
	ログ	
	自動ロックまでの時間	
	ロック解除失敗によるワイプ	
	リモートロック状態	
	暗号化状態	
	root 化状態	
	root 化検知内容	
	アプリ一覧	
	位置情報	
	保護状態	
	状態取得日時	
	配信されるメッセージ	
	メッセージボックス	

※4G/LTE 接続などのモバイル通信を行っている際も、モバイル端末で使用されている Wi-Fi や LAN ボードなどの MAC アドレスが取得されます。

第2章　エージェントの基本操作

2.1　エージェントをインストールする 12
2.1.1　KYF31、KYF33、KYF34 の場合 12
2.1.2　KYF37、KYF39 の場合 13
2.1.3　KYF42 の場合 14
2.1.4　KYF44 の場合 19
2.2　メニュー画面を表示する 25
2.2.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 25
2.2.2　KYF42、KYF44 の場合 26
2.3　メニュー画面の見かた 27
2.4　ライセンス認証を行う 28
2.4.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 28
2.4.2　KYF42、KYF44 の場合 30
2.5　端末に最新の設定を反映させる 32
2.6　スクリーンロックのパスワード設定を行う 33
2.6.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 33
2.6.2　KYF42、KYF44 の場合 34
2.7　スクリーンロックパスワードが変更された場合 36
2.8　禁止されているアプリケーションを起動した場合 37
2.9　禁止されている URL またはカテゴリに含まれる Web ページへのアクセスをした場合 38
2.10　Web フィルタリング機能が有効の場合 39
2.11　発信先が制限されている場合 40

2.1　エージェントをインストールする

本製品はエージェントを利用して 4G LTE ケータイ端末の管理･設定を行います。

以下の手順に従って、エージェントのインストールを行ってください。

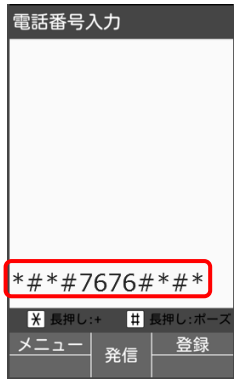
※インストール時には「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる必要があります。チェックを入れていない場合は、チェックを入れてからインストールを行ってください。

※インストール時には、ソフトウェアが最新であることを事前に確認する必要があります。待ち受け画面で「センターキー」→「設定」→「その他の設定」→「端末情報」を選択して確認してください。

※インストール方法は、機種により異なります。機種を確認のうえ「KYF31、KYF33、KYF34 の場合」12 ページ、「KYF37、KYF39 の場合」13 ページ、「KYF42 の場合」14 ページ、「KYF44 の場合」19 ページを参照して、インストールを行ってください。

2.1.1KYF31、KYF33、KYF34 の場合

1 待ち受け画面でキー操作を行い、「*#*#7676#*#*」を入力します。



2 インストールしています。しばらくお待ちください。

3 メニュー画面が表示されたら、インストールは完了です。

※メニュー画面が表示されない場合は、ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「プリセット」→「KDDI Smart Mobile Safety Manager」を選択してください。

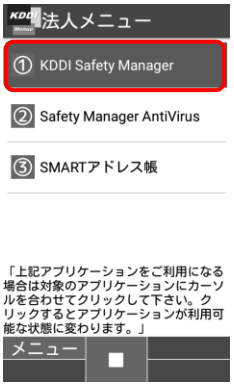
2.1.2KYF37、KYF39 の場合

1 待ち受け画面でキー操作を行い、「*#*#7676#*#*」を入力します。

2 「法人メニューアプリを更新します。」のメッセージが、一瞬表示されます。

3 法人メニューの画面が表示されます。「KDDI Safety Manager」を選選択します。

※数秒時間がかかるときもありますので、しばらくお待ちください。表示されない場合は、ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「法人メニュー」を選択してください。

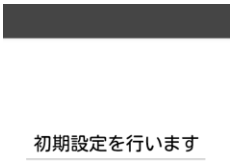


4 メニュー画面が表示されます。インストールは完了です。

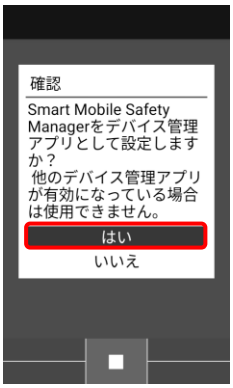
2.1.3KYF42 の場合

KYF42 でエージェントのインストールを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
初期設定画面で、Device Owner Mode の権限を付与します。

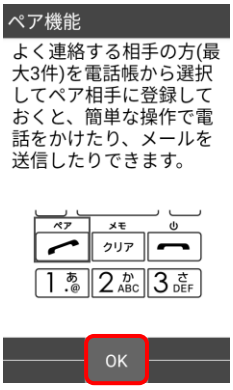
1 初期設定画面でキー操作を行い、「*#76*#」を入力します。
※画面に「*#76*#」は表示されません。



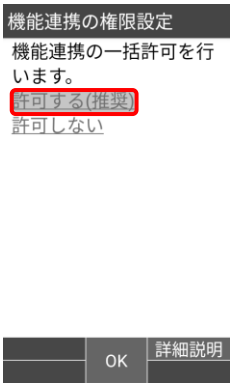
2 Device Owner Mode の権限を付与の確認画面が表示されます。
［はい］を選択します。



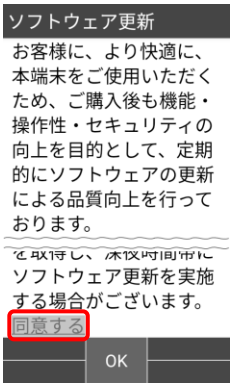
3 ペア機能画面が表示されます。［OK］を選択します。



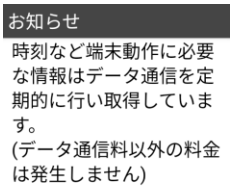
4 ［許可する(推奨)］を選択します。
※すべてのランタイム権限が許可されるので、エージェントの位置情報権限が自動的に許可されます。



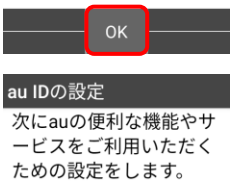
5 ソフトウェア更新についての画面が表示されます。スクロールして、［同意する］を選択します。



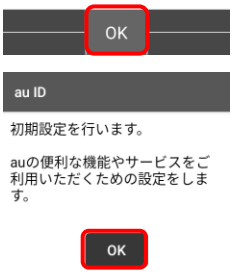
6 お知らせ画面が表示されます。［OK］を選択します。



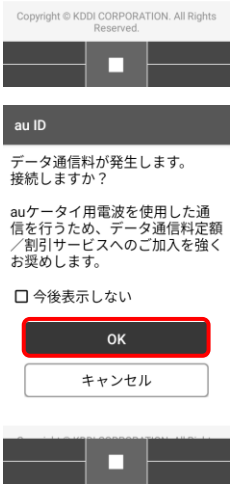
7 au ID の設定画面が表示されます。［OK］を選択します。



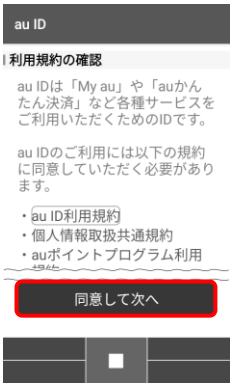
8 ［OK］を選択します。



9 ［OK］を選択します。

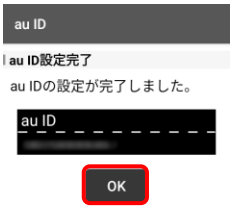


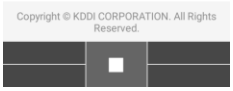
10 利用規約の確認画面が表示されます。スクロールして、［同意して次へ］を選択します。



11 au ID が表示されます。［OK］を選択します。

※初期設定が完了して、待ち受け画面が表示されます。

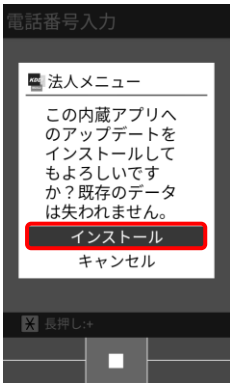




12 待ち受け画面でキー操作を行い、「*#*#7676#*#*」を入力します。

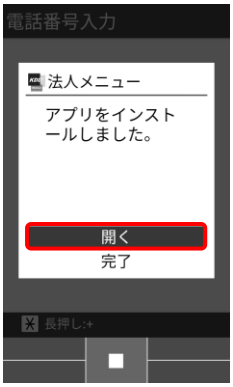
13 「法人メニューアプリを更新します。」のメッセージが、一瞬表示されます。

14 ［インストール］を選択します。



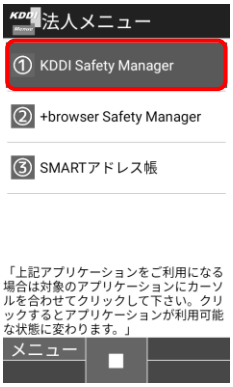
15 ［開く］を選択します。

※ネットワークに接続していない場合は、［完了］を選択してホーム画面に戻り、ネットワークに接続してください。ネットワークに接続しないで以降の操作を行うと、古いエージェントがインストールされ正常にライセンス認証が完了しません。

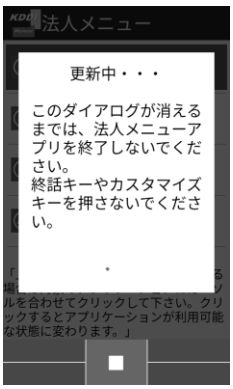


16 法人メニューの画面が表示されます。［KDDI Safety Manager］を選択します。

※数秒時間がかかるときもありますので、しばらくお待ちください。表示されない場合は、ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「法人メニュー」を選択してください。



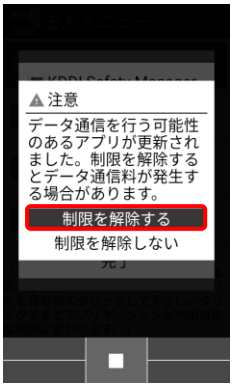
17 更新中の画面が表示されます。絶対に他の操作を行わないでください。



18 ［インストール］を選択します。

19 ［制限を解除する］を選択します。

※［制限を解除しない］を選択すると、認証後に同期ができなくなります。必ず［制限を解除する］を選択してください。



20 ［開く］を選択します。

21 「次へ」を選択します。

22 「この画面を閉じる」を選択します。

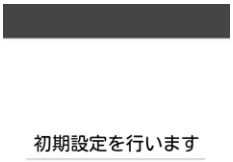
23 メニュー画面が表示されます。インストールは完了です。
「デバイスオーナー」と表示されていることを確認してください。

※「デバイスオーナー」と表示されていない場合は、Device Owner Mode 権限が付与されていません、端末を初期化して、再度インストールしてください。

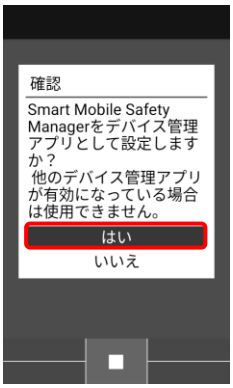
2.1.4KYF44 の場合

KYF44 でエージェントのインストールを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
初期設定画面で、Device Owner Mode の権限を付与します。

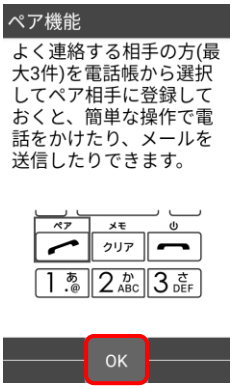
1 初期設定画面でキー操作を行い、「*#76*#」を入力します。
※画面に「*#76*#」は表示されません。



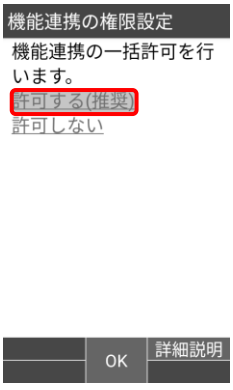
2 Device Owner Mode の権限を付与の確認画面が表示されます。
［はい］を選択します。



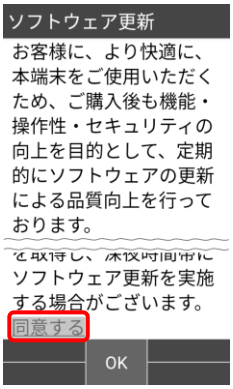
3 ペア機能画面が表示されます。［OK］を選択します。



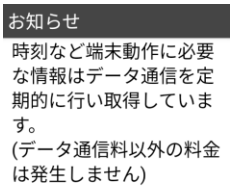
4 ［許可する(推奨)］を選択します。
※すべてのランタイム権限が許可されるので、エージェントの位置情報権限が自動的に許可されます。



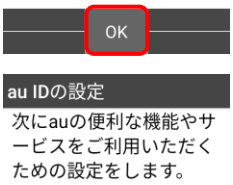
5 ソフトウェア更新についての画面が表示されます。スクロールして、［同意する］を選択します。



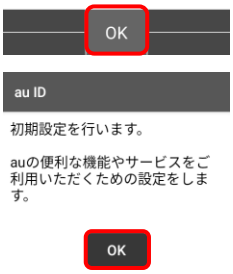
6 お知らせ画面が表示されます。［OK］を選択します。



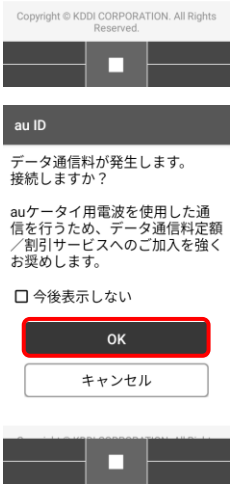
7 au ID の設定画面が表示されます。［OK］を選択します。



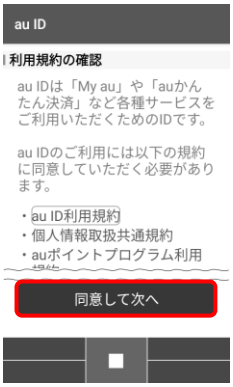
8 ［OK］を選択します。



9 ［OK］を選択します。

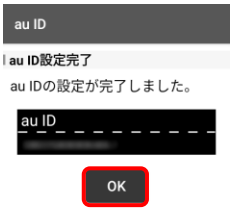


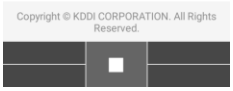
10 利用規約の確認画面が表示されます。スクロールして、［同意して次へ］を選択します。



11 au ID が表示されます。［OK］を選択します。

※初期設定が完了して、待ち受け画面が表示されます。



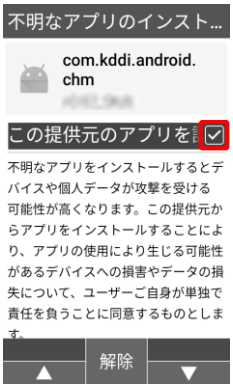


12 待ち受け画面でキー操作を行い、「*#*#7676#*#*」を入力します。

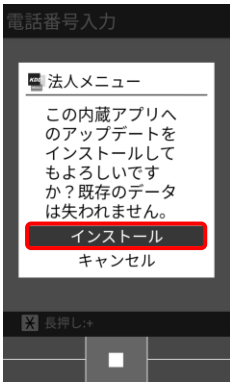
13 「法人メニューアプリを更新します。」のメッセージが、一瞬表示されます。

14 ［設定］を選択します。

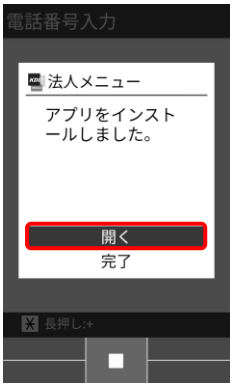
15 「この提供元のアプリを許可」にチェックを入れ、前の画面に戻ります。



16 ［インストール］を選択します。

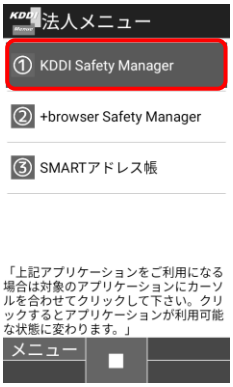


17 ［開く］を選択します。

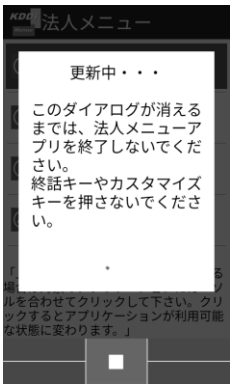


18 法人メニューの画面が表示されます。［KDDI Safety Manager］を選択します。

※数秒時間がかかるときもありますので、しばらくお待ちください。表示されない場合は、ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「法人メニュー」を選択してください。



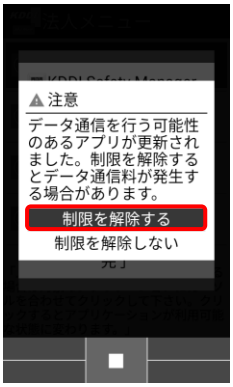
19 更新中の画面が表示されます。絶対に他の操作を行わないでください。



20 ［インストール］を選択します。

21 ［制限を解除する］を選択します。

※［制限を解除しない］を選択すると、認証後に同期ができなくなります。必ず［制限を解除する］を選択してください。



22 ［開く］を選択します。

23 「次へ」を選択します。

24 「この画面を閉じる」を選択します。

25 メニュー画面が表示されます。インストールは完了です。
「デバイスオーナー」と表示されていることを確認してください。

※「デバイスオーナー」と表示されていない場合は、Device Owner Mode 権限が付与されていません、端末を初期化して、再度インストールしてください。

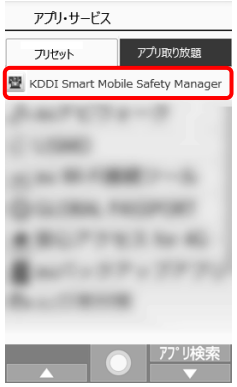
2.2 メニュー画面を表示する

以下の手順に従って、本製品のメニューを表示します。

※表示手順は、機種により異なります。機種を確認のうえ「KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合」25 ページ、「KYF42、KYF44 の場合」26 ページを参照して、ライセンス認証を行ってください。

2.2.1 KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合

1 ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「プリセット」→「KDDI Smart Mobile Safety Manager」を選択します。



2.2.2KYF42、KYF44 の場合

1 ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「プリセット」→「KDDI Safety Manager」を選択します。

2 「次へ」を選択します。

3 「この画面を閉じる」を選択します。

4 メニュー画面が表示されます。
［F3］を長押しすると、ポインターが表示されます。

2.3 メニュー画面の見かた

≪KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合≫

≪KYF42、KYF44 の場合≫

※エージェントの状態により無効になっているボタンがあります。

項番	対象	説明
1	［ライセンス認証］	本製品を利用するためにはライセンス認証が必要です。「ライセンス認証を行う」28 ページを参照してください。
2	［起動］	エージェントを起動します。「再度エージェントを起動する」75 ページを参照してください。
3	［終了］	エージェントを終了します。「一時的にエージェントを停止する」74 ページを参照してください。
4	［ライセンス解除］	ライセンスを解除するためにはエージェントパスワードが必要となる場合があります。「ライセンス解除を行う」76 ページを参照してください。
5	［同期］	管理サイトで行った設定を、4G LTE ケータイ端末へすぐに反映させることができます。「端末に最新の設定を反映させる」32 ページを参照してください。 ※端末によって、利用している通信方式が異なります。 ・KYF39 以前 モバイルデータ通信を必要とするセンタープッシュを利用 ・KYF42 以上 基本プランの Android エージェントと同様のウェブプッシュを利用
6	［バックアップ］	ご使用の 4G LTE ケータイ端末の連絡帳の情報を管理サイトに保存することができます。「端末側で作成した連絡帳を管理サイトにバックアップする」42 ページを参照してください。
7	［復元］	管理サイトに保存した 4G LTE ケータイ端末の連絡帳の情報を復元することができます。「管理サイトに保存した端末の端末側で作成した連絡帳を復元する」43 ページを参照してください。
8	［アンインストール］	アンインストールするためにはエージェントパスワードが必要となる場合があります。「エージェントをアンインストールする」77 ページを参照してください。 ※KYF42、KYF44 の場合は、ユーザーの情報が端末上に残ることで発生し得るデータ漏洩を防止する仕様のため、エージェントのアンインストールはできません。端末の初期化を行ってください。
9	［端末初期化］	KYF42、KYF44 の場合は、端末の初期化を行い、工場出荷状態の画面にします。「端末を初期化する」78 ページを参照してください。

2.4 ライセンス認証を行う

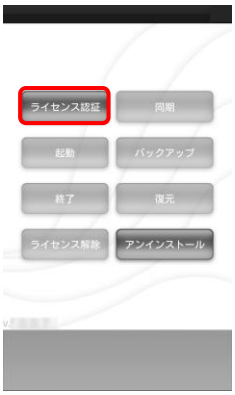
ライセンス認証を行っていない場合や、一度ライセンス認証を解除し再度ライセンス認証を行いたい場合の手順です。

※ライセンス認証方法は、機種により異なります。機種を確認のうえ「KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合」28 ページ、「KYF42、KYF44 の場合」30 ページを参照して、ライセンス認証を行ってください。

2.4.1 KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合

1 メニュー画面の［ライセンス認証］を選択します。

※メニュー画面の表示方法は「メニュー画面を表示する」25 ページを参照してください。

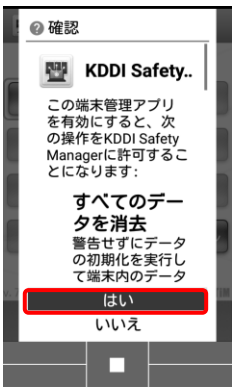


2

1. 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。
2. ［OK］を選選択します。

3 データ消去の許可を求める確認画面が表示されます。

［はい］を選択します。



4 ≪企業コード、認証コードで認証する場合≫

※ケータイから認証を行う場合、企業コード、認証コード、ユーザーID のみの認証が可能です。

1. 企業コード、認証コードを入力します。
2. ［送信］を選択します。

※企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。

※URL は変更不要です。

※使用状況によっては「企業コード」は表示されない場合があります。

5 ライセンス認証を行っています。
しばらくお待ちください。

6 設定が完了しました。
［OK］を選択します

2.4.2KYF42、KYF44 の場合

1 メニュー画面の［ライセンス認証］を選択します。

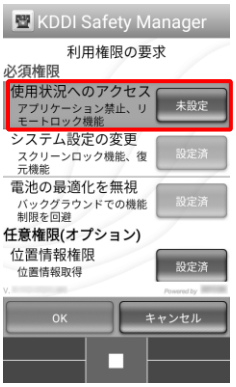
※メニュー画面の表示方法は「メニュー画面を表示する」25 ページを参照してください。

2 「利用規約に同意する」にチェックを入れ、［OK］を選択します。

3 権限を要求する画面が表示されます。

「使用状況へのアクセス」を選択して、画面の案内に従って設定を行ってください。

※「システム設定の変更」と「電池の最適化を無視」は、デフォルトで、「設定済」になっています。



4 ［OK］を選択します。

5

≪企業コード、認証コードで認証する場合≫

※ケータイから認証を行う場合、企業コード、認証コード、ユーザーID のみの認証が可能です。

1. 企業コード、認証コードを入力します。
2. ［送信］を選択します。

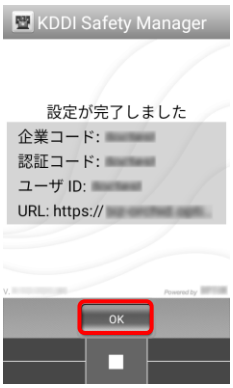
※企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。

※URL は変更不要です。

※使用状況によっては「企業コード」は表示されない場合があります。

6

設定が完了しました。［OK］を選択します。



2.5 端末に最新の設定を反映させる

管理サイトで行った最新の設定を、すぐに 4G LTE ケータイ端末に反映させることができます。

1 メニュー画面の［同期］を選択します。

※メニュー画面の表示方法は「メニュー画面を表示する」25 ページを参照してください。

※KYF42、KYF44 の場合は、［アンインストール］が［端末初期化］と表示されています。

2 最新の設定を反映しています。

3 設定が反映されました。

同期した時刻が（A）に表示されます。

2.6 スクリーンロックのパスワード設定を行う

スクリーンロック解除時のパスワードを設定します。

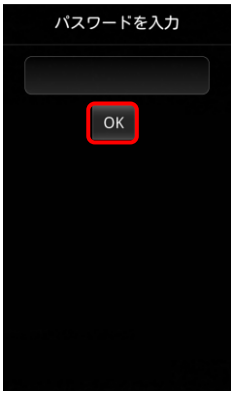
※パスワード設定方法は、機種により異なります。機種を確認のうえ「KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合」33 ページ、「KYF42、KYF44 の場合」34 ページを参照して、パスワードを設定してください。

2.6.1KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合

管理サイトで、スクリーンロック解除時に必ずパスワードを入力するように設定した場合は、パスワード設定画面が自動的に表示されます。

1 画面の指示に従って、パスワードを入力し、［OK］を選択します。

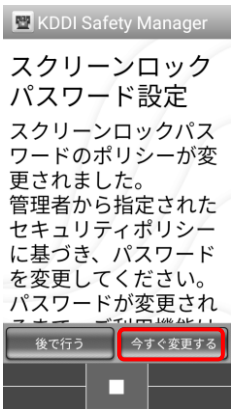
2 スクリーンロックを解除する際には、右記のような画面が表示されます。手順 1 で設定したパスワードを入力し、［OK］を選択します。



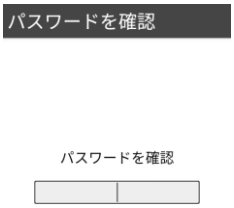
2.6.2KYF42、KYF44 の場合

管理サイトのスクリーンロックで設定されたパスワードのポリシーを満たしていない場合は、エージェント側で警告画面が表示され、パスワードポリシーが満たされるまでアプリが停止します。

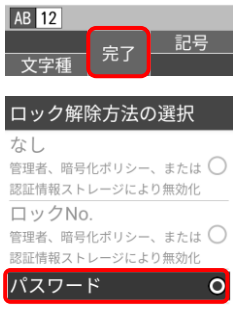
1 ［今すぐ変更する］を選択します。



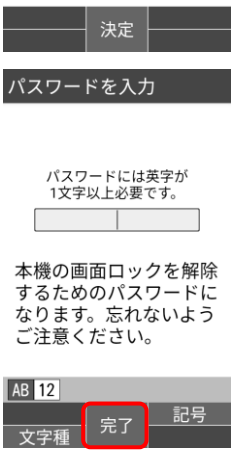
2 現在のパスワードを入力して、［完了］を選択します。



3 ［パスワード］を選択します。

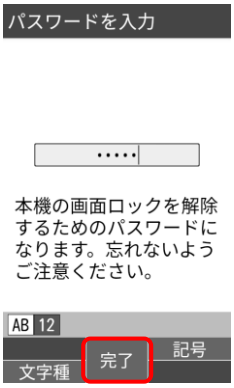


4 パスワードポリシーを満たす、新しいパスワードを入力して、［完了］を選択します。



5 確認のため手順 4 で設定したパスワードを再入力して、［完了］を選択します。

※パスワードポリシーが満たされていれば、警告画面が消えます。



2.7 スクリーンロックパスワードが変更された場合

管理サイトからスクリーンロックパスワードの変更が行われた場合、以下のような画面が表示されます。

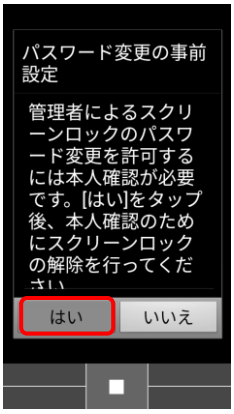
1 ［OK］を選択します。

※新しいパスワードは管理者にお問い合わせください。

≪KYF42、KYF44 でスクリーンロックのパスワードがすでに何か設定されていた場合≫

エージェント認証時、またはエージェントアップデート時に「パスワード変更の事前設定」を促す画面が表示されることがあります。

その場合は、［はい］を選択します。



2.8 禁止されているアプリケーションを起動した場合

管理サイトから特定のアプリケーション禁止が設定されている場合、禁止されているアプリケーションの起動を行うと、以下のような画面が表示されます。

1 アプリケーションを起動することはできません。
［OK］を選択します。
※詳細は管理者にお問い合わせください。

2.9 禁止されている URL またはカテゴリに含まれる Web ページへのアクセスをした場合

管理サイトから特定の URL またはカテゴリに含まれる Web ページへのアクセスを禁止する設定がされている、もしくはその両方の設定がされている場合、禁止された Web ページへアクセスを行うと、以下のような画面が表示されます。

※KYF42、KYF44 の場合は、+browser Safety Manager のみ設定されます。標準ブラウザーなどには設定されません。

+browser Safety Manager の詳細は、「+browser Safety Manager を使用する」55 ページを参照してください。

1

≪禁止対象 URL の場合≫

URL にアクセスすることはできません。

「アクセス先の Web ページは、お客様の管理者によって閲覧を禁止されています。」が表示されます。

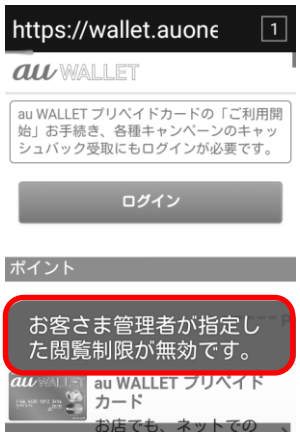
※詳細は管理者にお問い合わせください。

※URL のアクセス禁止設定のほかに、アプリケーション禁止にて、ブラウザーが禁止設定になっている場合に、ブラウザーの［設定］ボタンを押下すると、右のエラーメッセージと同時に、「禁止されているアプリケーションを起動した場合」37 ページのエラーメッセージが表示されます。

≪禁止対象 URL の判定がエラーになった場合≫

「お客さま管理者が指定した閲覧制限が無効です。」が表示され、数秒後に自動で消えます。

※詳細は管理者にお問い合わせください。



2.10 Web フィルタリング機能が有効の場合

管理サイトから Web フィルタリング機能が有効に設定されている場合、ブラウザーの設定変更が禁止され、以下のような画面が表示されます。

※KYF42、KYF44 の場合は、+browser Safety Manager のみ設定されます。標準ブラウザーなどには設定されません。

+browser Safety Manager の詳細は、「+browser Safety Manager を使用する」55 ページを参照してください。

1 「KDDI Safety Manager によってブラウザ設定の変更は禁止されています。」が表示され、数秒後に自動で消えます。

※詳細は管理者にお問い合わせください。

2.11 発信先が制限されている場合

管理サイトから発信先制限が設定されている場合は、共有アドレス帳に登録されている電話番号へのみ発信できます。共有アドレス帳に登録されていない電話番号および端末側で作成した連絡帳の電話番号へは発信できず、以下のような画面が表示されます。

※110 番等の緊急ダイヤルは制限の対象外となり、発信可能です。

1 発信先への発信が制限されました。

［OK］を選択します。

※詳細は管理者にお問い合わせください。

※GRATINA 4G（KYF31）で発信先が制限された場合の動作は、以下のようになります。

1. 「接続に問題があるか、MMI コードが正しくありません。」とシステムのエラーダイアログが表示されます。
2. エージェントの禁止ダイアログは表示されません。
3. 通話履歴に「+」記号が発信した履歴として残ります。

第3章　端末側で作成した連絡帳のバックアップ・復元機能を利用する

3.1　端末側で作成した連絡帳を管理サイトにバックアップする 42
3.2　管理サイトに保存した端末の端末側で作成した連絡帳を復元する 43

3.1 端末側で作成した連絡帳を管理サイトにバックアップする

4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳の情報を任意のタイミングで管理サイトにバックアップを行うためには、以下の操作を行います。

※管理サイトからの設定により定期的にバックアップを行っています。詳細は管理者にお問い合わせください。

1 メニュー画面の［バックアップ］を選択します。

※KYF42、KYF44 の場合は、［アンインストール］が［端末初期化］と表示されています。

2 バックアップをしています。しばらくお待ちください。

3 バックアップが完了しました。

［OK］を選択します。

※復元コードは 4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳の情報を復元する時に利用します。

3.2 管理サイトに保存した端末の端末側で作成した連絡帳を復元する

管理サイトに保存した 4G LTE ケータイ端末の端末側で作成した連絡帳の情報を復元するためには、以下の操作を行います。バックアップの内容は過去 3 回分までの情報が復元できます。

※「端末側で作成した連絡帳を管理サイトにバックアップする」42 ページで表示された復元コードを利用するか、管理者にお問い合わせください。

1 メニュー画面の［復元］を選択します。

※KYF42、KYF44 の場合は、［アンインストール］が［端末初期化］と表示されています。

2 復元コードを入力し、［送信］を選択します。

※復元コードは全部で 10 文字です。一番左の入力欄に 3 文字、真ん中の入力欄に 3 文字、一番右の入力欄には 4 文字とわけて入力してください。

3 復元を行っています。

しばらくお待ちください。

4 復元が完了しました。

［OK］を選択します。

第4章ウイルス対策機能を使用する

「Safety Manager AntiVirus」とは、Android 端末内の不正アプリを検索するアプリです。管理サイトから配布されます。

※「ウイルス対策機能」はオプション機能です。ご契約されていない場合は、使用できません。
※ウイルス対策を使用する場合は、4G LTE ケータイ端末をポインターモードにしないと、操作がしづらく、フォーカスできないボタンもあります。ポインターモードで操作することをお勧めします。
※4G LTE ケータイ端末では、ウイルス対策の画面が正確に表示されない場合があります。ご了承ください。
※au スマートパス/au スマートパスプレミアムをご加入の場合は、ご利用できません。
※パターンファイルの更新のため、インターネットを介して更新サーバーと通信します。閉域網をご利用の場合は、ご利用できません。
※KYF42、KYF44 では、本機能が非対応です。外部アプリのインストール制限を行う場合は、管理サイトのデバイス制限設定で SD カードおよび USB 接続の制限を禁止に設定します。そのあと、Web フィルタリング設定でインストールを制限する外部アプリのダウンロードサイトの URL を禁止に設定してください。
詳細は、『4G LTE ケータイ向け 管理サイトマニュアル』の「デバイス制限設定」および「Web フィルタリング設定」を参照してください。

4.1 メイン画面を表示する 45
4.2 設定の確認を行う 46
4.3 手動で検索を行う 48
4.4 手動でパターンファイルのアップデートを行う 50
4.5 ログの収集と送付 51
4.6 履歴を確認する 53

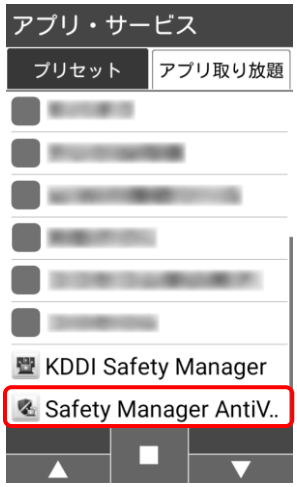
4.1 メイン画面を表示する

ウイルス対策のメイン画面を表示します。

※「Safety Manager AntiVirus」の端末へのインストールは、『GRATINA KYF37 エージェントのインストール手順』を参照してください。

※「Safety Manager AntiVirus」が起動しない場合は、管理サイトと端末の同期を行ってください。詳細は「端末に最新の設定を反映させる」32 ページを参照してください。

1 メニューから「アプリ・サービス」を選択します。「プリセット」メニューから「Safety Manager AntiVirus」を選択します。



2 ウイルス対策メイン画面が表示されました。

4.2 設定の確認を行う

検索の設定やアップデートの設定を確認するには、以下の手順で行います。端末から設定の変更をすることはできません。設定の変更は管理サイトからのみ行うことができます。詳細は管理者にお問い合わせください。

1 メイン画面を表示し、［不正アプリ対策］を選択します。

※一度もセキュリティチェックを行っていない場合は、アプリのセキュリティチェックを行うかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

※メイン画面表示方法は、「メイン画面を表示する」45 ページを参照してください。

2 端末の保護状況、リアルタイム検索状況、自動アップデート状況が表示されます。

さらに詳細な情報を確認する場合は、［オプション］を選択します。

3 ≪検索設定情報を確認する場合≫

［検索］を選択します。

検索の設定詳細情報が表示されます。

≪アップデート詳細情報を確認する場合≫

［アップデート］を選択します。

アップデートに関するの詳細情報が表示されます。

4.3 手動で検索を行う

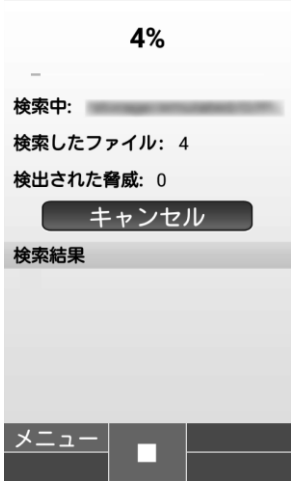
手動で不正アプリの検索を行うには、以下の操作を行います。

1 メイン画面を表示し、［不正アプリ対策］を選択します。

※メイン画面表示方法は、「メイン画面を表示する」45 ページを参照してください。

2 ［検索開始］を選択します。

3 検索を行っています。



4 検索が完了しました。

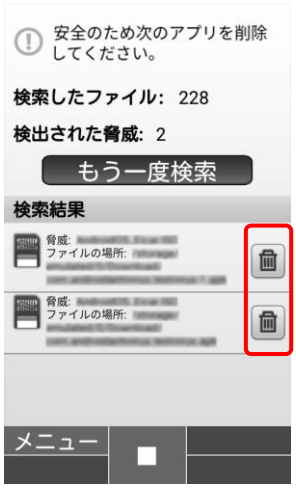
≪不正アプリがなかった場合≫

もう一度検索を行う場合は、［もう一度検索］を選択します。

≪不正アプリが存在した場合≫

不正アプリの一覧が表示されます。ゴミ箱アイコンを選択すると不正アプリが駆除されます。

もう一度検索を行う場合は、［もう一度検索］を選択します。



4.4 手動でパターンファイルのアップデートを行う

手動でパターンファイルのアップデートを行うには、以下の操作を行います。

1 メイン画面を表示し、［不正アプリ対策］を選択します。
※メイン画面表示方法は、「メイン画面を表示する」45 ページを参照してください。

2 ［アップデート］を選択します。

4.5 ログの収集と送付

トレンドマイクロ社のサーバーにウイルス対策機能のログを送付します。

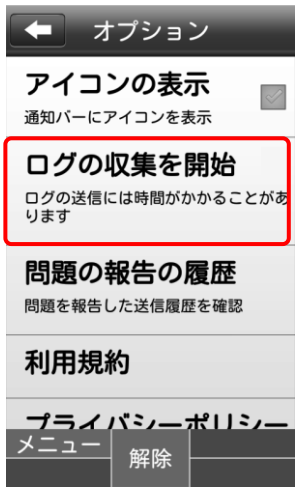
※ウイルス対策機能が正常に作動しない場合、またトレンドマイクロ社に問題を報告する場合に、この機能を利用します。

1 メイン画面を表示し、[⋮] を選択します。

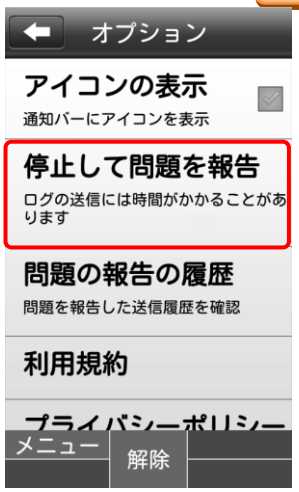
※メイン画面表示方法は、「メイン画面を表示する」45 ページを参照してください。

2 [設定] を選択します。

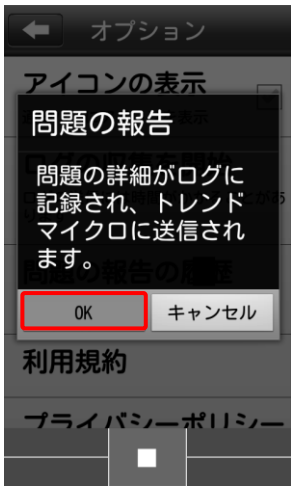
3 [ログの収集を開始] を選択します。



4 ［停止して問題を報告］を選択します。



5 ［OK］を選択します。



4.6 履歴を確認する

検索履歴、アップデート履歴の確認を行うには、以下の操作を行います。

1 メイン画面を表示し、［不正アプリ対策］を選択します。
※メイン画面表示方法は、「メイン画面を表示する」45 ページを参照してください。

2 ［オプション］を選択します。

3 ［履歴］を選択します。

4 ［検索履歴］（A）を選択すると検索履歴が表示され、［アップデート履歴］（B）を選択するとアップデート履歴が表示されます。

第5章+browser Safety Manager を使用する

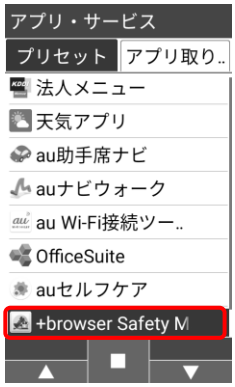
+browser Safety Manager とは、KYF42、KYF44 の端末で標準ブラウザーとは別にインストールするブラウザーです。
KYF42、KYF44 の端末に搭載されている標準ブラウザーの機能の 1 つであるシークレットモードで Web 閲覧をすると、管理サイトの Web フィルタリング機能で禁止しているページであっても、閲覧できてしまいます。
+browser Safety Manager を端末にインストールし、+browser Safety Manager のみの使用に制限することで（管理サイトのアプリケーション禁止機能を使用）、シークレットモードでのブラウザー閲覧を防ぎ、Web フィルタリングの抜け道をなくします。
アプリケーション禁止機能についての詳細は、『4G LTE ケータイ向け 管理サイトマニュアル』の「アプリケーション禁止設定」を参照してください。
+browser Safety Manager には、ブックマーク追加、お気に入り設定、セキュリティ設定等、標準ブラウザーと同等の機能があります。

※KYF42、KYF44 で使用できます。その他の機種では、使用できません。
※+browser Safety Manager は、オプション機能です。契約していない場合は、使用できません。
※エージェントのライセンス認証を行っていないと、+browser Safety Manager は使用できません。「ライセンス認証を行う」の「KYF42、KYF44 の場合」30 ページを参照して、ライセンス認証を行ってください。

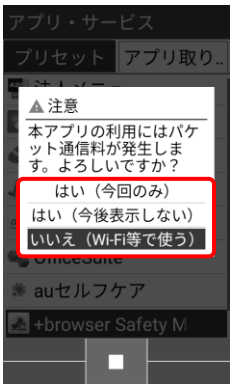
5.1 メイン画面を表示する 56
5.2 メイン画面の見かた 58
5.3 メニュー画面の見かた 59
5.4 設定画面の見かた 60
5.5 アンインストールする 61

5.1 メイン画面を表示する

1 ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「プリセット」→「+browser Safety Manager」を選択します。



2 通信料についての注意が表示されます。利用に応じて選択します。



3 「次へ」を選択します。

4 「この画面を閉じる」を選択します。

5 +browser Safety Manager のメイン画面が表示されます。

［F3］を長押しすると、ポインターが表示されます。

※メイン画面の詳細については、「メイン画面の見かた」58 ページを参照してください。

5.2 メイン画面の見かた

項番	対象	説明
1	タブ	タブが表示されます。 ※ポインターを利用している場合は、(A)［×］を選択するとタブが閉じます。
2	アドレスバー	現在閲覧しているページの URL が表示されます。 ※ポインターを利用している場合は、選択すると URL 入力画面が表示されます。 (B)［鍵］を選択すると、現在閲覧しているページの情報がダイアログで表示されます。
3	［更新］	ポインターを利用している場合は、選択すると現在閲覧しているページを更新します。
4	［メニュー］	ポインターを利用している場合は、選択するとメニュー画面を表示します。 ※項番 5 のメニューで表示するものと同じです。
5	メニュー	メニュー画面を表示します。 メニュー画面の詳細については、「メニュー画面の見かた」59 ページを参照してください。
6	リンク操作	リンクの操作画面を表示します。 ※ハイパーリンクを選択すると、使用できます。
7	左のタブ	現在閲覧しているタブから、左のタブに移動します。
8	右のタブ	現在閲覧しているタブから、右のタブに移動します。

5.3 メニュー画面の見かた

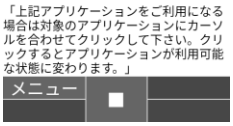
項番	対象	説明
1	［前のページへ戻る］	前のページへ戻ります。
2	［次のページへ進む］	次のページへ進みます。
3	［ブックマークに追加］	現在閲覧しているページをブックマークに登録します。
4	URL 入力	閲覧したいページの URL の入力が行えます。
5	新しいタブ	現在閲覧しているページの右側に、新しいタブが追加されます。
6	ブックマーク	現在登録されているブックマークの確認やフォルダの作成、編集、削除などが行えます。
7	ページ情報	現在閲覧しているページの情報がダイアログで表示されます。
8	ページ更新	現在閲覧しているページを更新します。 ※更新中の場合は、「ページ更新停止」と表示されます。
9	タブを閉じる	現在閲覧しているタブを閉じます。
10	拡大／縮小	アドレスバーを非表示／再表示が行えます。
11	履歴	ブラウザーの閲覧履歴を確認できます。
12	ページ内検索	現在閲覧しているページ内での文言検索を行います。
13	共有	現在閲覧しているページの URL をメールやメモなどに添付できます。
14	設定	ブラウザーのセキュリティなどの設定を行います。 設定画面の詳細については、「設定画面の見かた」60 ページを参照してください。

5.4 設定画面の見かた

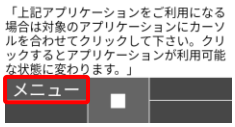
項番	対象	説明
1	全般	以下の設定を行います。 ・ホームの設定 ホームページの設定を変更します。 ・ステータスバーの表示 ステータスバーの表示／非表示の切り替えを行います。
2	セキュリティ	以下の設定を行います。 ・Cookie の許可 Cookie の許可の有効／無効を切り替えます。 ・位置情報を有効にする 位置情報の有効／無効を切り替えます。 ・JavaScript を有効にする JavaScript の有効／無効を切り替えます。 ・データの削除 Cookie、キャッシュ、位置情報のデータを削除します。削除対象を選択できます。
3	ユーザー補助	以下の設定を行います。 ・テキストの大きさ ブラウザーのテキストの大きさを設定します。最小、小、中、大、最大から選択します。 ・ズームの倍率 Web ページをブラウザー上で表示する際のズームの倍率を設定します。小、中、大から選択します。
4	このアプリについて	+browser Safety Manager のバージョン情報が表示されます。

5.5 アンインストールする

1 ホーム画面メニューの設定から、「アプリ・サービス」→「プリセット」→「法人メニュー」→「+browser Safety Manager」を選択します。



2 「メニュー」を選択します。



3 「アプリ削除」を選択します。

第6章　その他の機能

6.1　メッセージを確認する 63
6.1.1　未開封メッセージを確認する 63
6.1.2　受信済みのメッセージを確認する 64
6.2　ステータス管理 65
6.2.1　ステータスを送信する 65
6.2.2　ステータスでユーザー検索する 66
6.3　位置情報取得の設定を行う 68
6.3.1　KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合 68
6.3.2　KYF42、KYF44 の場合 69
6.4　ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する 70
6.5　ロックを解除する 71

6.1　メッセージを確認する

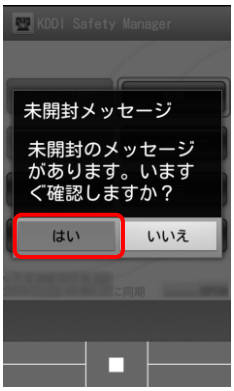
管理サイトからのメッセージを確認するには、以下の操作を行います。

※「メッセージ通知」はオプション機能です。ご契約されていない場合はメニュー画面に表示されません。

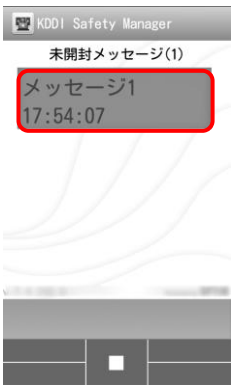
※管理サイト側のメッセージ通知の操作については、『4G LTE ケータイ向け 管理サイトマニュアル』の「メッセージ通知」を参照してください。

6.1.1未開封メッセージを確認する

1 メッセージを受信すると右記のような画面が表示されます。
［はい］を選択します。
※あとで確認する場合は［いいえ］を選択します。
メッセージの確認方法は「受信済みのメッセージを確認する」64ページを参照してください。



2 確認するメッセージを選択します。

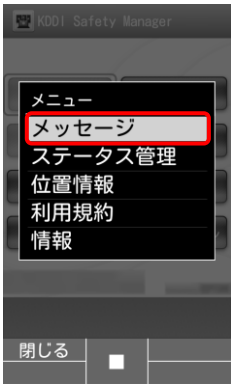


3 メッセージが表示されました。

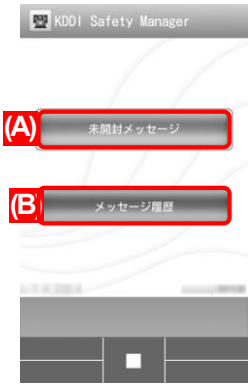
6.1.2 受信済みのメッセージを確認する

すでに受信済みでまだ開封していないメッセージを確認する場合や、メッセージ履歴を確認する場合は、以下の操作を行います。

1 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［メッセージ］を選択します。



2 未開封のメッセージを確認する時は、［未開封メッセージ］（A）、履歴からメッセージを確認する時は、［メッセージ履歴］（B）を選択します。



6.2 ステータス管理

4G LTE ケータイ端末で、ステータスを登録できます。さらに、他のユーザーのステータスを 4G LTE ケータイ端末で確認できます。

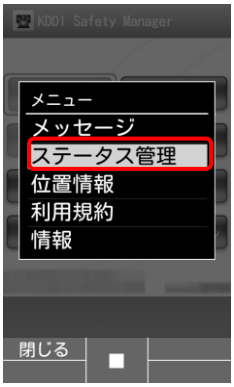
※「ステータス管理」はオプション機能です。ご契約されていない場合はメニュー画面に表示されません。

※管理サイト側のステータス管理の操作については、『4G LTE ケータイ向け 管理サイトマニュアル』の「ステータス管理」を参照してください。

6.2.1ステータスを送信する

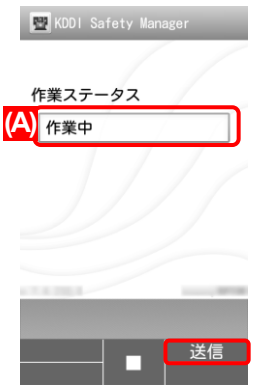
ステータスを管理サイトに送信するには、以下の操作を行います。

1 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［ステータス管理］を選択します。



2 ［ステータス送信］を押します。

3 （A）を押すと、設定されているステータス一覧が表示されます。現在のステータスを選択して、［送信］を押します。

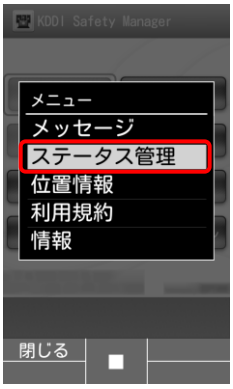


6.2.2ステータスでユーザー検索する

ユーザーが属している組織内のユーザーをステータスで検索するには、以下の操作を行います。

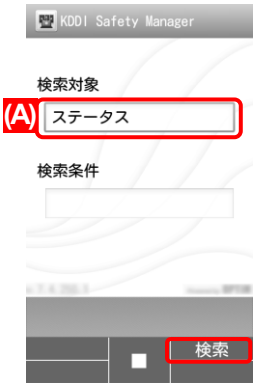
※ユーザーが組織に属していない場合は、利用企業内のすべてのユーザーが検索できます。

1 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［ステータス管理］を選択します。

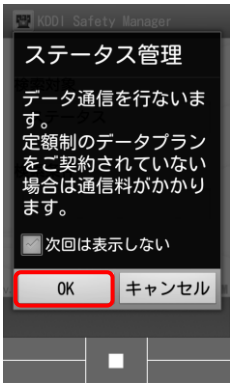


2 ［他のユーザーのステータス］を押します。

3 (A) を押して、ユーザー名かステータスを選択して、［検索］を押します。

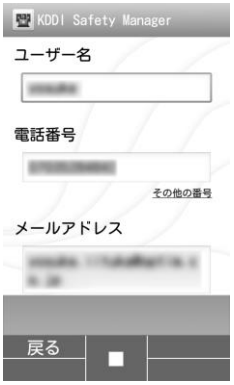


4 ［OK］を押します。



5 検索結果が表示されます。
ユーザーの詳細を確認したい場合は、確認したいユーザーを押します。

6 ユーザーの詳細画面が表示されます。
※この画面からメール、電話ができます。



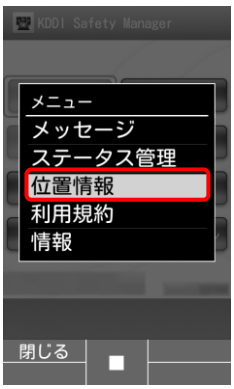
6.3 位置情報取得の設定を行う

位置情報を取得するかどうかを設定するには、以下の操作を行います。

※位置情報取得の設定方法は、機種により異なります。機種を確認のうえ「KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合」68 ページ、「KYF42、KYF44 の場合」69 ページを参照して、位置情報取得の設定を行ってください。

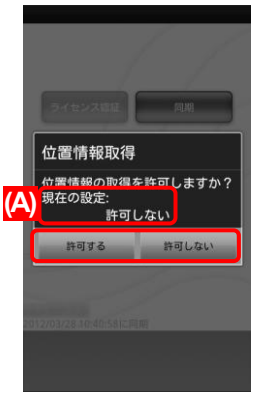
6.3.1 KYF31、KYF33、KYF34、KYF37、KYF39 の場合

1 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［位置情報］を選択します。



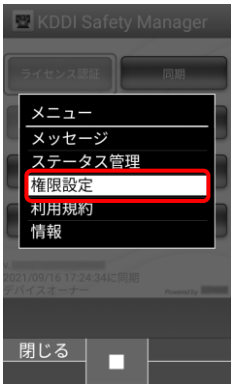
2 現在の設定が（A）に表示されます。

［許可する］または［許可しない］を選択します。

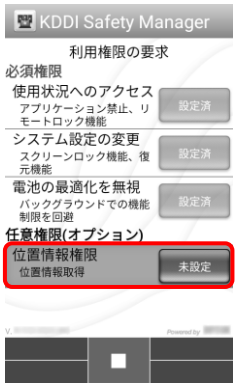


6.3.2KYF42、KYF44 の場合

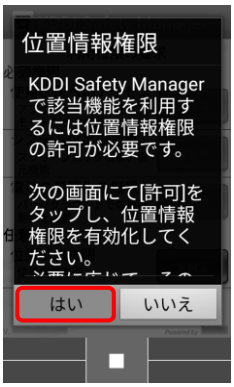
1 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［位置情報］を選択します。



2 「位置情報権限」が［未設定］の場合、選択します。
※［設定済］の場合は、設定の必要はありません。



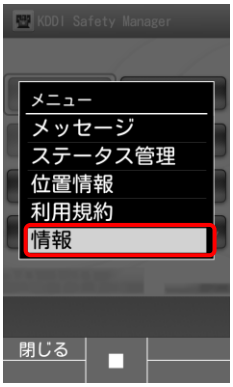
3 ［はい］を選択して、画面の案内に従って設定を行ってください。



6.4 ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する

ソフトウェアが使用するライブラリ名を表示する場合は、以下の操作を行います。

1 メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［情報］を選択します。



2 ソフトウェアが使用するライブラリ名が表示されました。

6.5　ロックを解除する

リモートロック設定がされていた場合や、一定時間通信が行われない場合など 4G LTE ケータイ端末にロックがかかってしまった場合には以下の手順でロックを解除します。

1

≪リモートロック設定がされていた場合≫

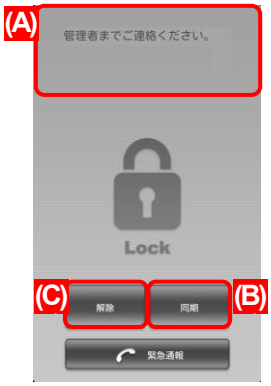
管理者に連絡し、管理サイトよりリモートロックを解除します。

リモートロック解除後、［同期］（B）を選択します。

※（A）には管理者が管理サイトで設定したメッセージが表示されます

［解除］（C）を選択し、解除コードを入力することで、ロックを一時的に解除することはできますが、4G LTE ケータイ端末がスリープした場合や同期した場合は、再度ロックがかかります。

※解除コードは管理者にお問い合わせください。



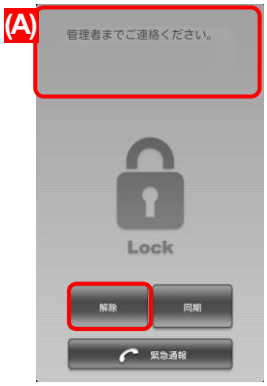
≪スクリーンロック解除失敗によりロックされてしまった場合≫

［OK］を選択します。

［解除］を選択し、解除コードを入力します。

※解除コードは管理者にお問い合わせください。

※（A）には管理者が管理サイトで設定したメッセージが表示されます。



≪一定時間通信が行われずロックされてしまった場合≫

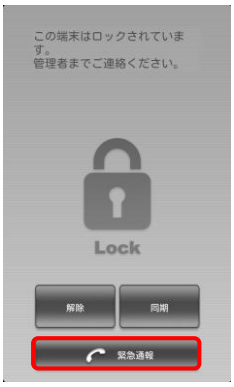
［同期］を選択します。

※（A）には管理者が管理サイトで設定したメッセージが表示されます。

2

≪緊急通報ボタンについて≫

緊急通報ボタンを選択すると、110、119 等の緊急通報をすることができます。



第7章　エージェントの利用を停止する

7.1　一時的にエージェントを停止する 74
7.1.1　一時的にエージェントを停止する 74
7.1.2　再度エージェントを起動する 75
7.2　ライセンス解除を行う 76
7.3　エージェントをアンインストールする 77
7.4　端末を初期化する（KYF42、KYF44） 78

7.1　一時的にエージェントを停止する

7.1.1一時的にエージェントを停止する

エージェントを終了させ、本製品による 4G LTE ケータイ端末の管理・運用を一時的に停止するには、以下の操作を行います。

1 メニュー画面の［終了］を選択します。

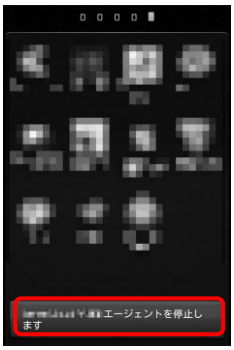
※KYF42、KYF44 の場合は、［アンインストール］が［端末初期化］と表示されています。

2 パスワードを入力し、［OK］を選択します。

※パスワードは管理者にお問い合わせください。

※管理サイトでの設定によりパスワード入力が不要な場合もあります。

3 エージェントが終了しました。



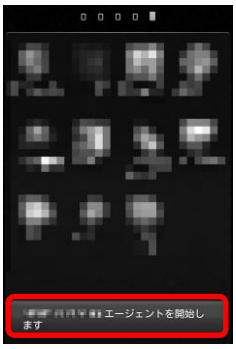
7.1.2再度エージェントを起動する

エージェントを一時的に停止後、再度起動する場合は以下の操作を行います。

1 メニュー画面の［起動］を選択します。

※KYF42、KYF44 の場合は、［アンインストール］が［端末初期化］と表示されています。

2 エージェントが開始されました。



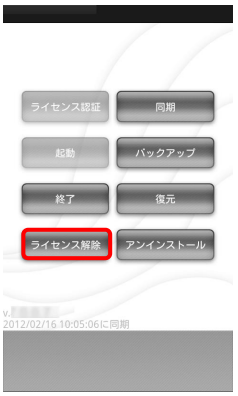
7.2 ライセンス解除を行う

本製品による 4G LTE ケータイ端末の管理を完全に停止するためには、ライセンス認証の解除を行います。再度、ライセンス認証を行う場合は、「ライセンス認証を行う」28 ページを参照してください。

※ライセンス認証を解除しても 4G LTE ケータイ端末から、エージェントはアンインストールはされません。アンインストール方法は、「エージェントをアンインストールする」77 ページを参照してください。また、KYF42、KYF44 の場合は、ユーザーの情報が端末上に残ることで発生し得るデータ漏洩を防止する仕様のため、エージェントのアンインストールはできません。「端末を初期化する（KYF42、KYF44）」78 ページを参照して、端末の初期化を行ってください。

1 メニュー画面の［ライセンス解除］を選択します。

※KYF42、KYF44 の場合は、［アンインストール］が［端末初期化］と表示されています。

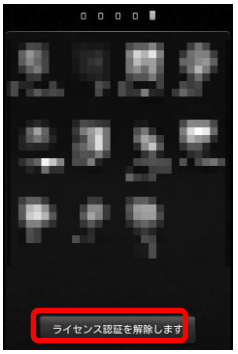


2 パスワードを入力し、［OK］を選択します。

※パスワードは管理者にお問い合わせください。

※管理サイトでの設定によりパスワード入力が不要な場合もあります。

3 ライセンス認証が解除されました。



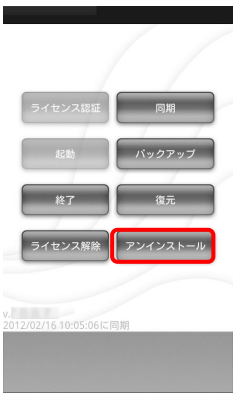
7.3 エージェントをアンインストールする

以下の手順に従って、エージェントのアンインストールを行ってください。

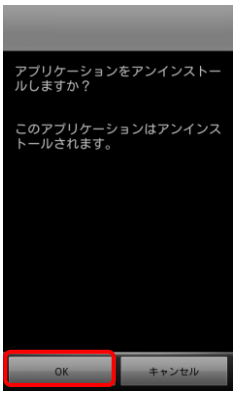
※KYF42、KYF44 の場合は、ユーザーの情報が端末上に残ることで発生し得るデータ漏洩を防止する仕様のため、エージェントのアンインストールはできません。「端末を初期化する（KYF42、KYF44）」78 ページを参照して、端末の初期化を行ってください。

1 メニュー画面の［アンインストール］を選択します。

※エージェント起動中はアンインストールできません。エージェントを終了させてから、アンインストールしてください。エージェントの終了方法は、「一時的にエージェントを停止する」74 ページを参照してください。

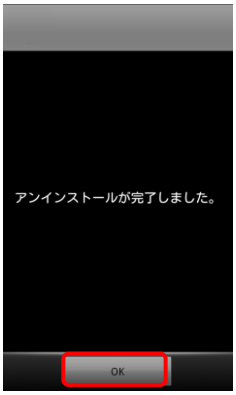


2 ［OK］を選択します。



3 アンインストールを行っています。しばらくお待ちください。

4 アンインストールが完了しました。［OK］を選択します。



7.4 端末を初期化する（KYF42、KYF44）

KYF42、KYF44 の場合は、ユーザーの情報が端末上に残ることで発生し得るデータ漏洩を防止する仕様のため、エージェントのアンインストールはできません。端末の初期化を行い、工場出荷状態（初期設定画面）にしてください。

端末を初期化するには、以下 3 つの方法があります。

7.4.1 リモートワイプで初期化する

管理サイトから対象端末のリモートワイプを行います。

※リモートワイプを実行すると、すぐに端末が初期化されます。実行時には細心の注意を払ってください。

7.4.2 端末のリセット機能で初期化する

管理サイトと接続できなかったり、エージェントが起動しない場合などは、端末のリセット機能で初期化を行ってください。

※端末のリセット機能は、端末ごとに異なります。詳細については、利用している端末の取扱説明書やヘルプを確認してください。

7.4.3 エージェントで初期化する

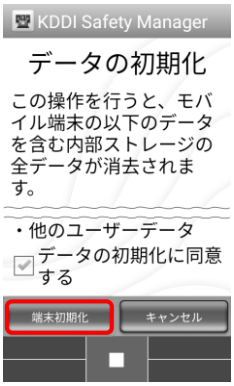
1 メニュー画面の［終了］を選択します。

※エージェント起動中は端末初期化できません。

2 パスワードを入力し、［OK］を選択します。

※パスワードは管理者にお問い合わせください。

※管理サイトでの設定によりパスワード入力が不要な場合もあります。

3 メニュー画面の［端末初期化］を選択します。

4 「データの初期化に同意する」にチェックを入れ、［OK］を選択します。